

福島市のまちなかの 動きについて

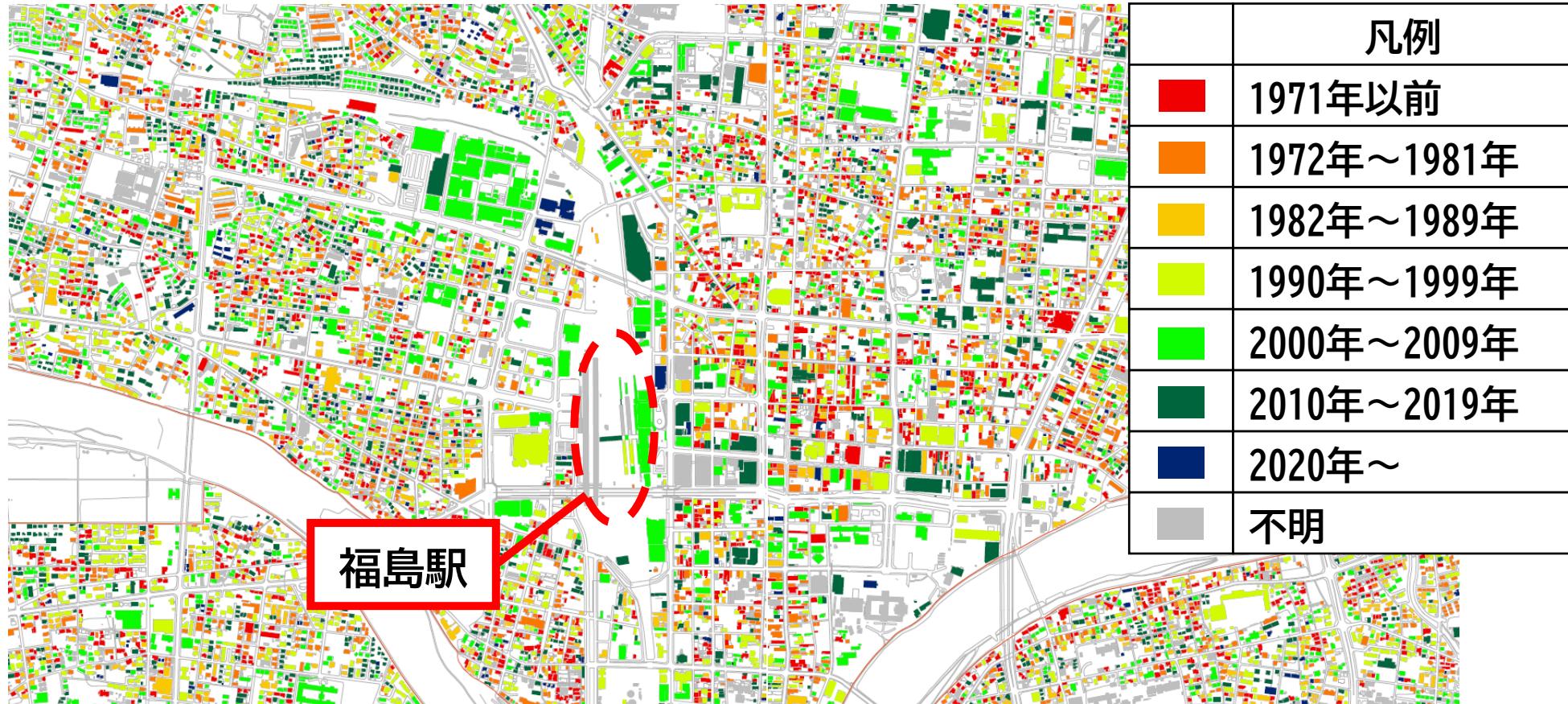
福島市都市政策部都市計画課



1 まちなかの現状

建物の老朽化

福島市中心市街地の建物年別(2024年時点)

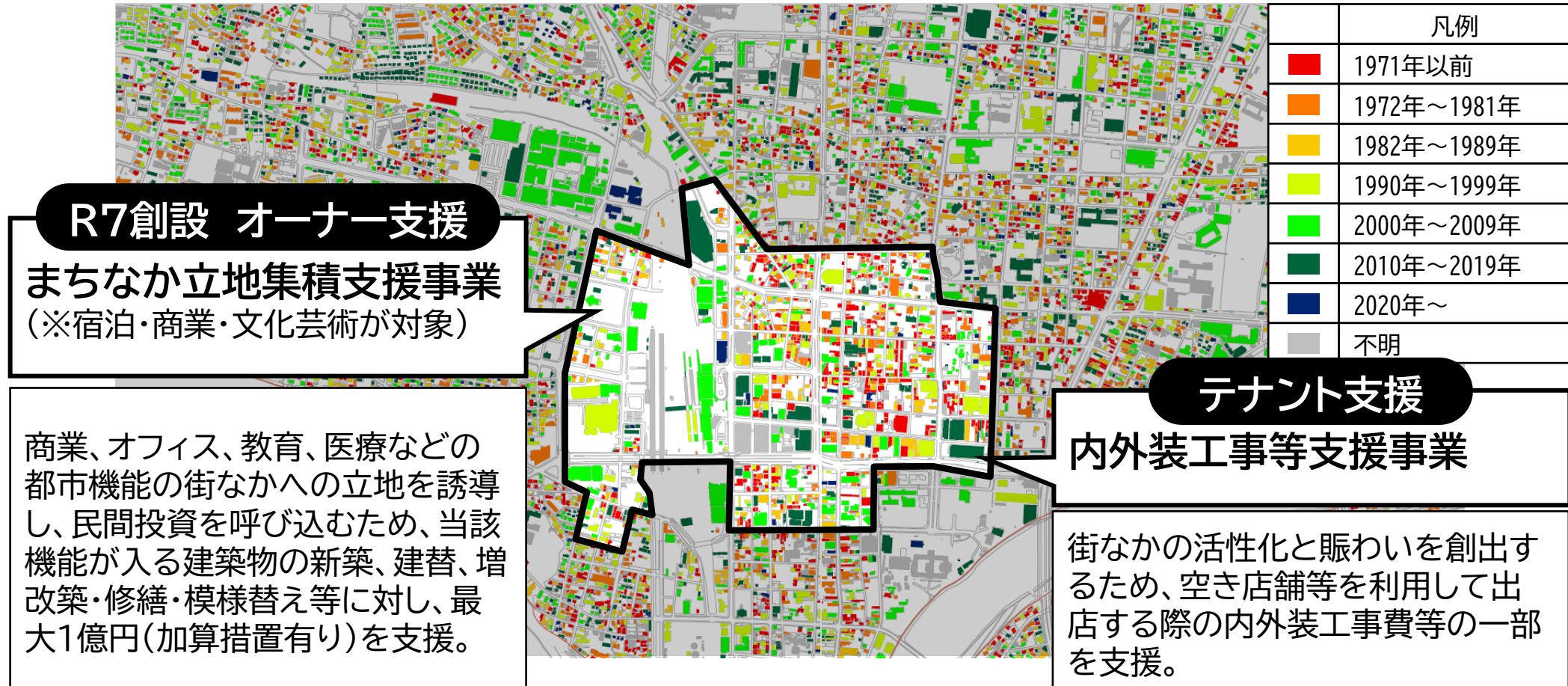


※福島市都市計画基礎調査(2024)より

1 まちなかの現状

建物の老朽化

福島市中心市街地の建物年別(2024年時点)



1 まちなかの現状

建物の老朽化

福島市中心市街地の建物年別(2024年時点)

駅東口エリアは
赤・橙・黄色の
建物が多い

35年以上経過
している
建物が多い

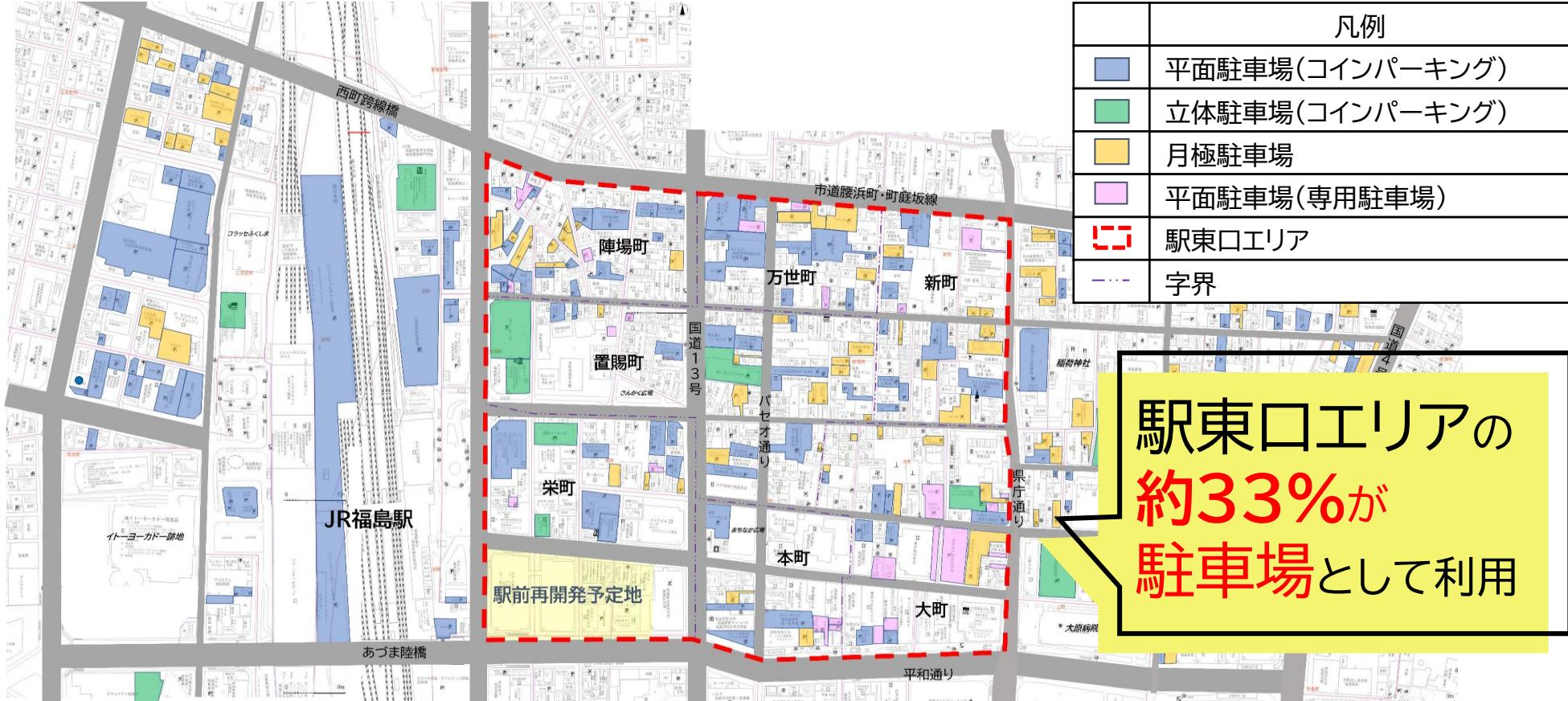


※福島市都市計画基礎調査(2024)より

1 まちなかの現状

駐車場が占める割合

福島市中心市街地の駐車場実態(2024年6月時点)



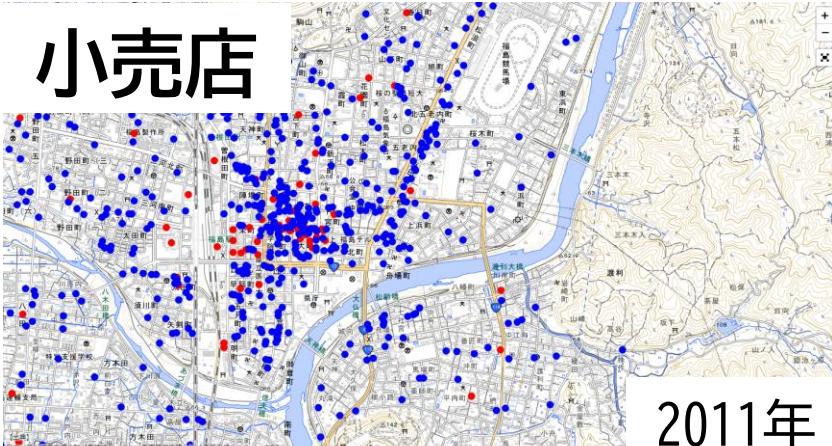
※2024年6月に実施した低未利用地調査より

1 まちなかの現状

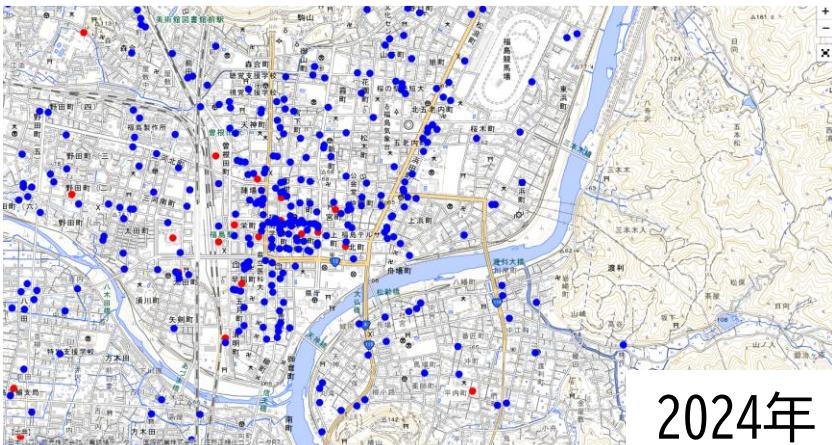
事業所数の減少

福島市中心市街地に立地する事業所の分布

小売店

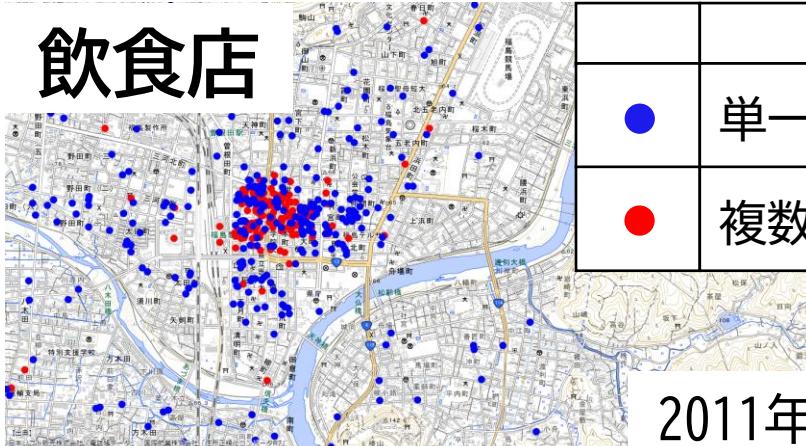


2011年

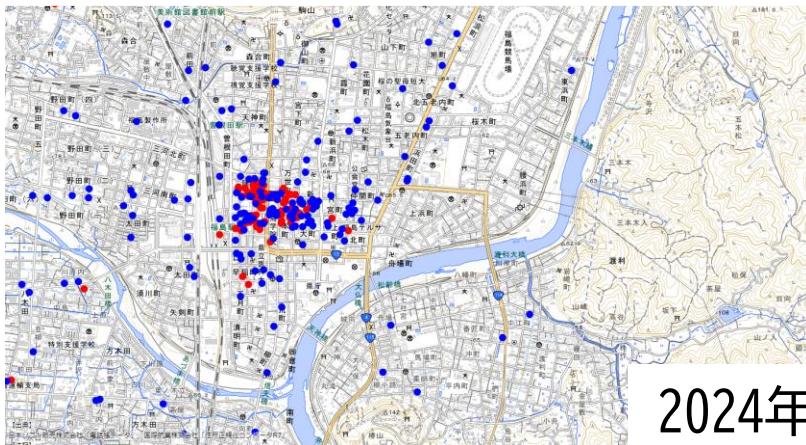


2024年

飲食店



2011年



2024年

凡例	
●	単一テナント
●	複数テナント

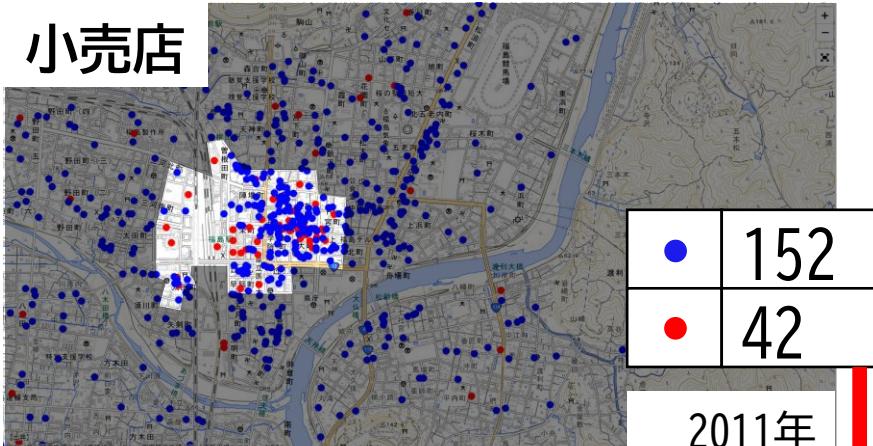
※RESAS 事業所立地分析より

1 まちなかの現状

事業所数の減少

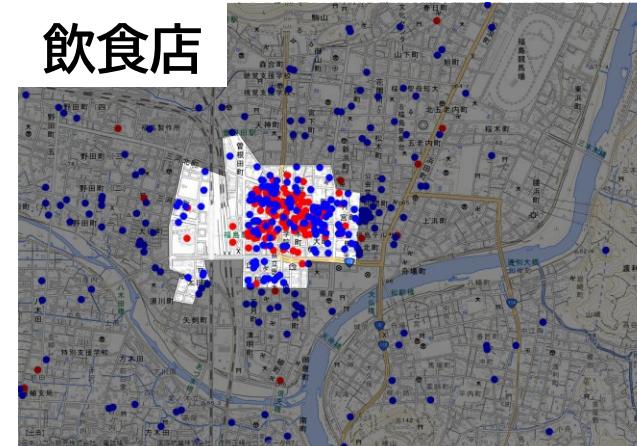
福島市中心市街地に立地する事業所数(ウォーカブル推進区域内)

小売店



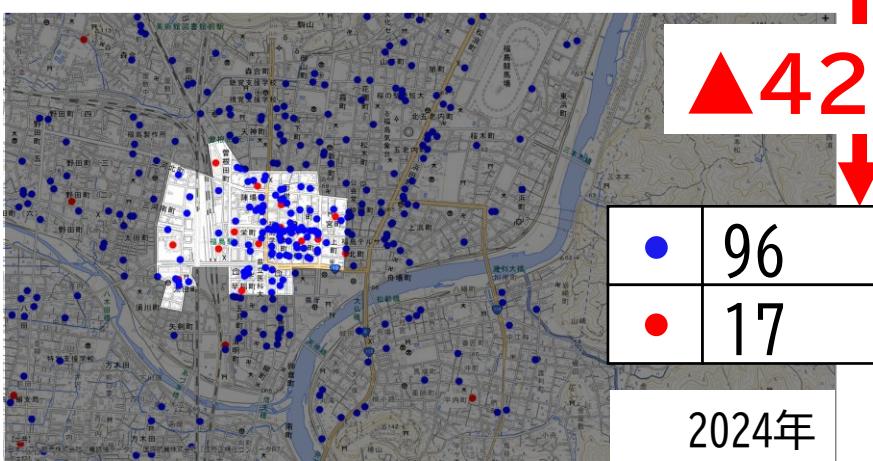
2011年

飲食店



2011年

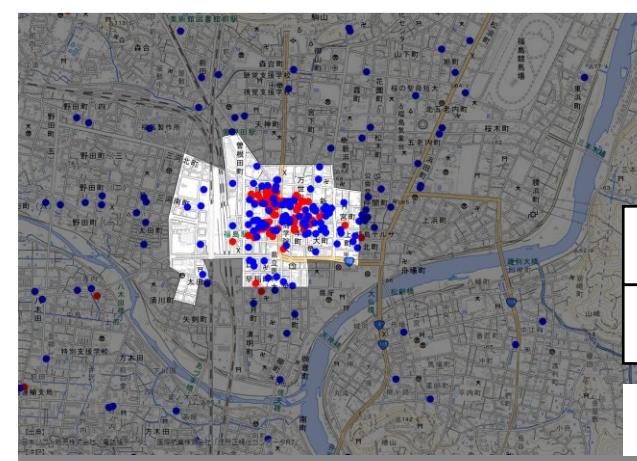
▲42%



●	96
●	17

2024年

▲38%



●	97
●	71

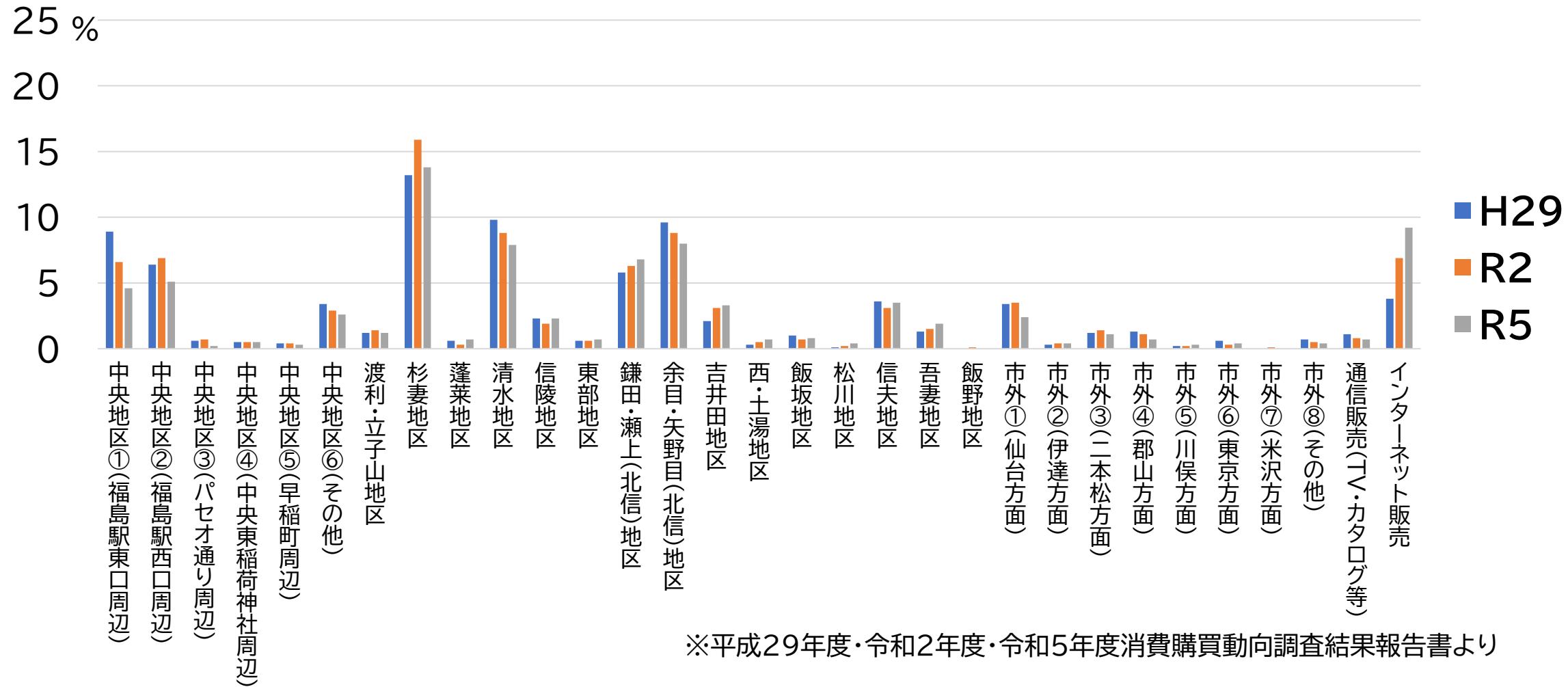
2024年

※RESAS 事業所立地分析より

1 まちなかの現状

買い物場所の変遷

福島市民の買物場所とその利用率の推移(H29～R5)

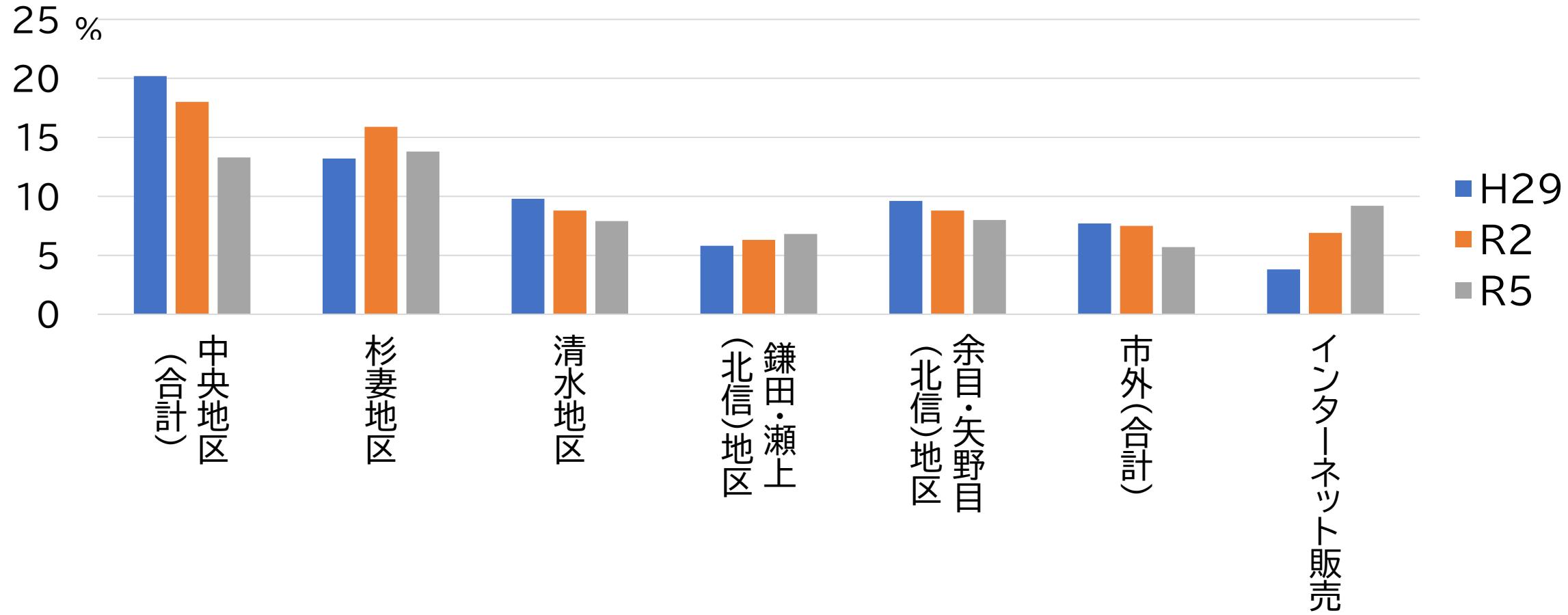


※平成29年度・令和2年度・令和5年度消費購買動向調査結果報告書より

1 まちなかの現状

買い物場所の変遷

福島市民の買物場所とその利用率の推移(H29～R5)

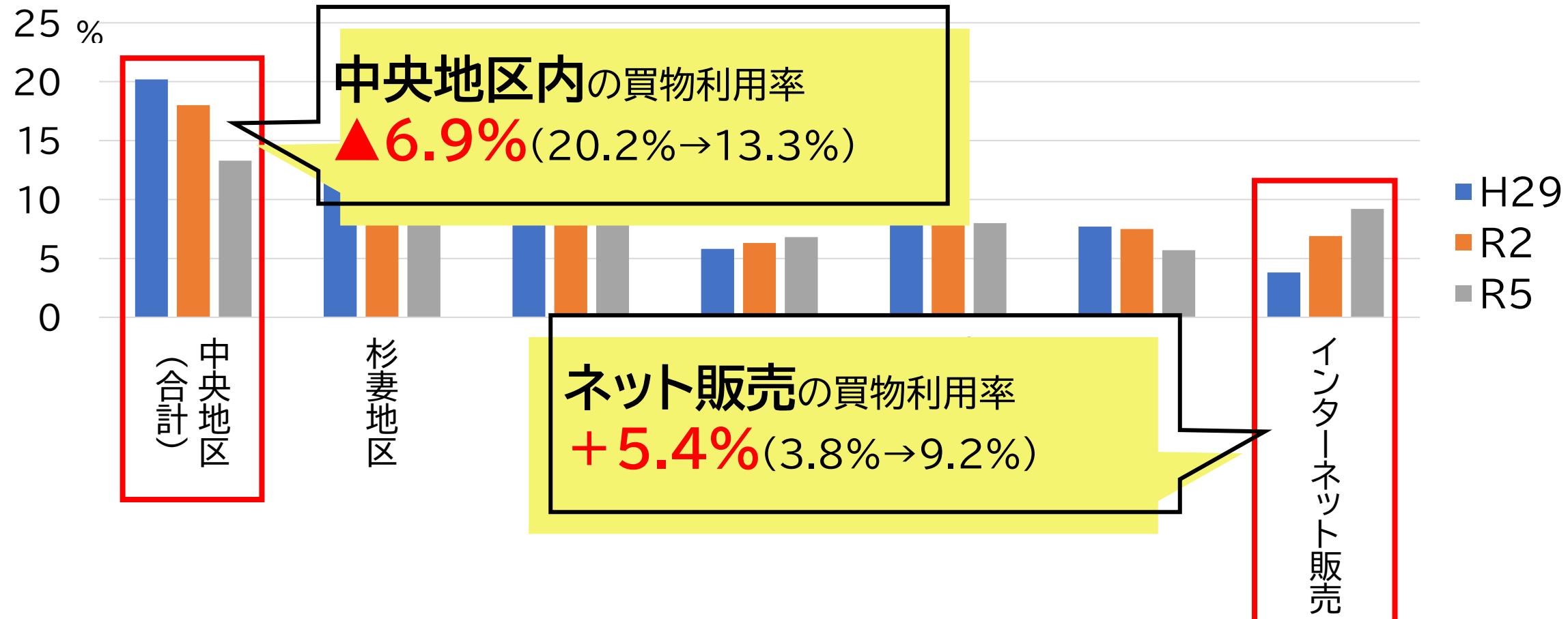


※平成29年度・令和2年度・令和5年度消費購買動向調査結果報告書より

1 まちなかの現状

買い物場所の変遷

福島市民の買物場所とその利用率の推移(H29～R5)

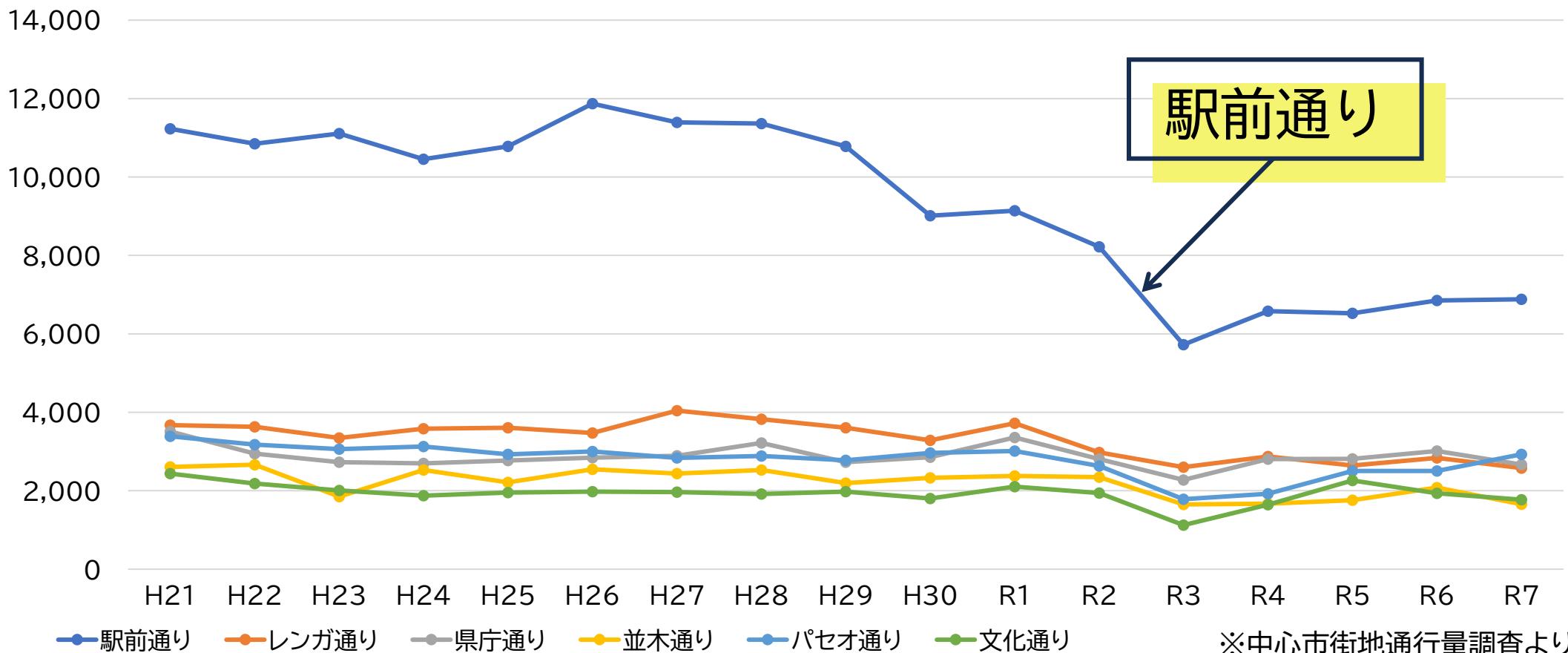


※平成29年度・令和2年度・令和5年度消費購買動向調査結果報告書より

1 まちなかの現状

通行量の減少

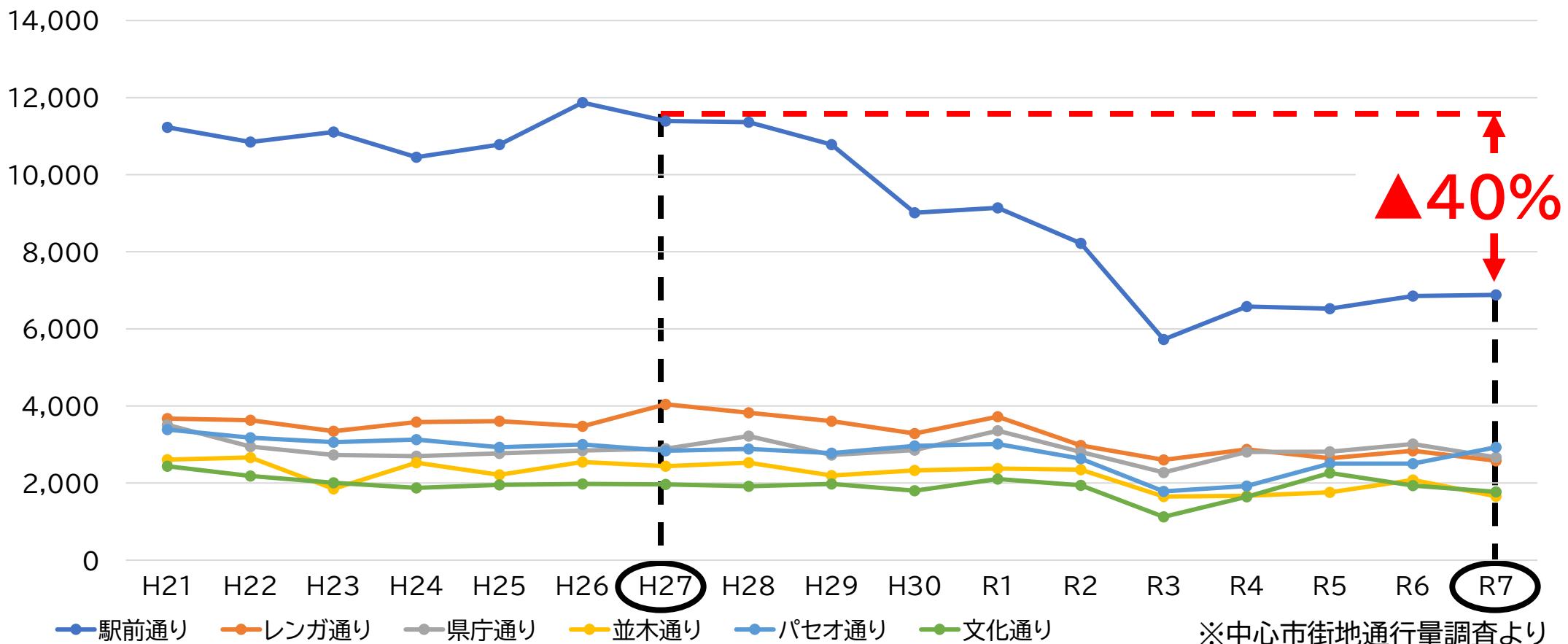
中心市街地の平日の通行量(6調査地点の推移)



1 まちなかの現状

通行量の減少

中心市街地の平日の通行量(6調査地点の推移)



1 まちなかの現状

分析のまとめ



- ・建物の老朽化が進んでいる
- ・駅東口の土地は約3割が駐車場
- ・小売店や飲食店の事業所数は約4割減っている
- ・まちなかで買い物する人が減り、
ネットで買い物する人が増えている
- ・まちなかの通行量は10年で約4割減っている

- ① 土地利用の密度が低下
 - ② 消費行動の中心が、「まちなか」から「オンライン」へ移行
 - ③ まちなかの購買力・集客力の低下

1 まちなかの現状

まちづくりの在り方の転換

体験・魅力のあるまち



新しい出会い・交流

このまちに出かけること
そのものが楽しい！

行ってみたい！

- ① 土地利用の密度が低下
- ② 消費行動の中心が、「まちなか」から「オンライン」へ移行
- ③ まちなかの購買力・集客力の低下

1 まちなかの現状

まちづくりの在り方の転換

体験・魅力のあるまち



新しい出会い・交流

このまちに出かけること
そのものが楽しい！

行ってみたい！

事業者・市民のアイディア・創造力で、
公共空間を舞台に新たな魅力とにぎわいを育てるまちづくりへ

■「まちなかウォーカブル推進事業」をはじめます。

ウォーカブル

=“歩きたくなる、つい立ち止まってしまうような、居心地のいい空間”



通過しなかった人



通過する人



滞在する人

3 まちごとデザイン戦略会議

まずはスモールスタートから



小さいことから、気軽に、描いてみる

